

今月のイチオシ 鉄道模型

2025.11

国鉄色のまま活躍した JR 西日本のキハ 181 系

キハ 181 系は昭和 43 年(1968) から製造された特急形気動車です。従来のキハ 82 系に比べて大出力のエンジンを搭載し、勾配区間の連続する山岳路線向けに登場しました。当初投入された中央本線や奥羽本線、伯備線の電化に伴い、1980 年代からは主に中国地方で活躍していたキハ 82 系を置き換える形で様々な特急列車へ充当されました。国鉄分割民営化後も国鉄特色を維持したまま活躍した山陽・山陰地方のキハ 181 系を、列車ごとの特徴を反映した 2 種のセットで発売いたします。両セットの内容を組み合わせることで、再現できる列車や増結編成の幅が一段と広がります。

ATS-P 装備 N キハ 181 系「はくと」 New

10-2017 5 両セット ¥19,800 (¥21,780 税込)

セット構成



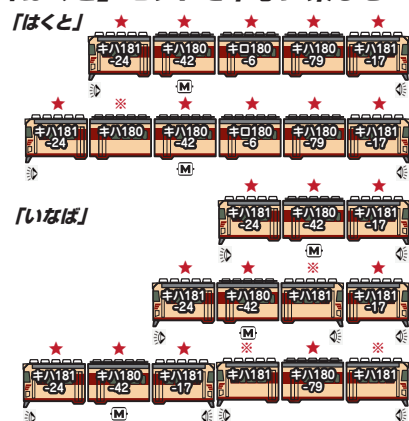
写真: Joshin web yawayawa

「はくと」セットに含まれる先頭車キハ 181 は、智頭急行線への乗り入れに対応するための ATS-P を装備し、先頭車の屋根全体におよぶ配管が追加されていることが特徴です。平成 6 年(1994)の智頭急行開業により、HOT7000 系の「スーパーはくと」とともに運行を開始した「はくと」は、HOT7000 系の増備により 3 年ほどで撤退しましたが、鳥取に本拠地を移して引き続き智頭急行線を経由する岡山発着の特急「いなば」に転用されました。さらに「いなば」がキハ 187 系に置き換えにより、一部の車両が京都へ転属。すでに全車が「JR 西日本更新色」で運行されていたキハ 181 系特急「はまかぜ」に国鉄色のまま充当され、一時的に混色編成も見られました。

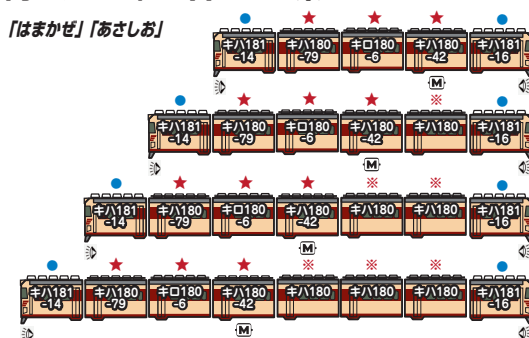


写真は◆「はまかぜ」6 両セット(10-875)です。

「はくと」セットを中心に楽しむ



両セットの組み合わせで楽しむ



「はまかぜ」色との混結編成の様子

「はまかぜ」セットと楽しむ



車両の※印は 2 セット目以降、または Assy パーツ 1 両組です。◆「はまかぜ」6 両セット(10-875)です。編成により一部実車仕様と異なる場合がございます。

車掌室付きキハ 180

「おき・くにびき・いそかぜ」セットに含まれる中間車キハ 180-17 は、車掌室付である点が特徴です。「下関ふくフク号」などの臨時列車も含め、所定 3 両のコンパクトな編成で運転された鳥取～山口・福岡エリアの各列車に広く充当されました。車掌室は元々キハ 180 にのみ設置されていたため、モノクラス編成での運転に際して国鉄時代にキハ 180 に車掌室設置の改造が施工されました。なお、各列車の増結の際には通常のキハ 180 の充当が多く見られ、そちらは「はくと」セットに収録のキハ 180 を組み込むことで再現できます。

N キハ 181 系「おき・くにびき・いそかぜ」 New

10-2018 3 両セット ¥15,600 (¥17,160 税込)

セット構成

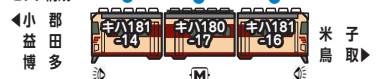


写真: sMALL☆wORLD